

## 第7回桑名市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	平成27年1月30日（金） 15:00～17:10 桑名市役所本庁舎 3階 第2会議室
出席者	委員：6名 市：3名 事務局：10名
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題            (1) 桑名市行政改革大綱について           <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新総合計画及び行政改革大綱【資料①、②】</li> <li>● 前回委員会の振り返り【資料③】</li> <li>● 桑名市行政改革大綱「実施計画」【資料④】</li> </ul>           (2) 桑名市行政改革大綱「実施計画」の主な取り組み項目           <ul style="list-style-type: none"> <li>① 行政評価制度の活用</li> <li>② 使用料の見直し</li> </ul> </p> <p>3 その他</p>
概要 (主な意見)	<p>2 議題</p> <p>(1) 桑名市行政改革大綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税では、主力商品だけに頼るのではなく、今後売っていきけるものを探していく必要があると思うが、民間から募集するなどの取り組みはどうなっているか。</li> <li>・資産の有効活用（モノ）では、「利回り」という視点を持っていただきたい。例えば、市が持っている土地・建物を賃貸へ回した場合、いくら利回りになるのか。ぜひ、指標として入れることを検討していただきたい。民間は、資産を圧縮して、できるだけ利益を確保して、利回りを増やしていくという方向である。</li> <li>・1号線と駅のゾーンはマンション開発にちょうどいいので、公共施設の圧縮、統廃合を検討していただきたい。長島は渋滞問題があり、住民にとって命のリスクがある。長島庁舎を一体化して、マンションを建ててそこに住んでもらう。空いたところを市が買い取って避難先として貸すなど、引き続き行政の機能が入ることで、住民の暮らしを守れると思う。</li> <li>・民間と一体化してやっていくという感覚を持って、まさに公民連携でやっていただきたい。</li> <li>・人材育成について。人事考課の方向性を教えていただきたい。</li> <li>・予算を余らせても特段問い詰めないという予算制度をやっているところがあつたが、桑名市はどうか。</li> <li>・指標については、一事業に一つだけでなく、できるだけ多面的に設</li> </ul>

定して評価していただきたい。そのためには、継続的に見直しをすることが必要。また、係数の良し悪しだけでなく、計画や大綱の中での重要性を戦略的に付加し、優先順位付けを行いながら指標を運営していただきたい。

- ・ 全員参加型市政に向けた組織力と職員力の向上「ヒト」の中で、職員アンケートが目立つが、市民満足度調査の中に「市民から見て職員はどうか」という客観的な視点を入れてはどうか。職員は満足しているが、市民は満足していないという場合もあると思う。
- ・ 桑名は調整区域が多い。特に、湾岸 I C の周辺が。インターを含む地域はもったいない。調整区域そのものを見直すことを検討していただきたい。調整区域を外して、流通関係の施設を呼び込んでいただくことが、雇用・税収にも効果的である。
- ・ 指標については、全体の整合性を図るようにしてある印象を受けた。これから先、総合計画との関係性がしっかりとできるかが大事だと思うので、このままきっちりやっていただきたい。

## (2) 桑名市行政改革大綱「実施計画」の主な取り組み項目

### ① 行政評価制度の活用

- ・ 以前外部評価に携わったときは大変だった。目標設定や施策の体系ができていないところで評価するというのは非常に厳しかったが、今回はきちんと指標を設定していただけるということで、非常によかったと思う。
- ・ 年度の違いでずれが生じているため、事中評価をするということは非常にいいことだと思う。評価ではプロセスをきちんと見ていくことが大事で、その時点時点でやりっ放しになっていないかということをしちんとしておく必要がある。それを実践していこうとする動きがあるのはいいことである。
- ・ 評価結果が補正予算の要求にも使えるようになるのか。
- ・ 事業評価では、他の自治体などを見ると、予算・人件費・経費などを見積もりでやっているところもあるが、きちんと歳出の経費や人件費と合致する、検証手続きを組み込んでいただきたい。
- ・ 公会計の整備を他のところが3年かけてやるのなら、1年である程度整備するというのが、本物志向の行政につながると思う。
- ・ エネルギー自給率について、エネルギーの地産地消という考えで、水力発電、水素などの手法にぜひ取り組んでいただきたい。
- ・ 総合計画にしても行革にしても、結局はつくった計画がしっかりとできているかどうか、満足しているかどうかという点で、評価は非常に大事だと思う。今回、これまでの反省点を挙げていただいたのは非常にいいことである。課題にしっかりと取り組んでいただきたいと思う。
- ・ 評価制度というのは、職員が自覚するための一種のツールである。また、市民によりよく市を理解してもらうためのツールでもある。まずは、評価にしっかりと取り組むことが第一。財政の問題では、市長・副市長で予算を切るなら切るというように思い切ってやらないと、状況は改善していかないだろう。職員研修にウエイトを置いて、

	<p>職員の仕事のやり方にプラスになるようにやっていただきたい。</p> <p>② 使用料の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料の方針は、緻密で合理性があるが、市民に納得してもらおうとすると、ビジュアル化するなど、分かりやすい形でアピールする必要がある。</li> <li>・ 物件費の委託費や維持補修費は他市と比べやすいと思うので、他市と比較して桑名はどうかという指標が必要なのではないかと。他市の状況を踏まえて市民へ説明を行っていただきたい。ただ、減価償却費に毎回税金を投入するという考え方は私としてはなじみにくい気がする。同様の手法を他市でやっているのか。</li> <li>・ 公共施設は建設費が何億円、何十億円とかかるが、何十年か経つとまた建て替えになる。その点では、減価償却費もとるべきだと思う。</li> <li>・ 減価償却費の問題は、他市の事例を使うか桑名市独自の根拠を示すなどして、含めることに関しての考え方を示していただければ良いと思う。見直しの基準については、きちんと説明すれば市民は理解してくれるだろうが、利用者への配慮や個別の説明の仕方など、見直し後のフォローも大事だということを踏まえながら進めていただければいい。</li> </ul> <p>3. その他</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p>担 当 課</p>	<p>市長公室 政策経営課</p>